



指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『赤い衝撃』



校長 おおこうち のりかず 大河内 範一

先日、高齢の両親と久しぶりに会話をした際、私が小学2年生の時に交通事故に遭った話になった。

それは親戚たちと一緒に、夏の軽井沢旅行に出掛けた時の出来事だった。宿泊した翌朝、軽井沢の街中を、前方に父親たち、後方に私と母親たちで移動していた。何の用事かは忘れてしまったが、私は父親に追い付こうと駆け足で追い掛けた。すぐ先に十字路があったのだが、そのままの勢いで突っ切った。その時、右横から「キキーッ！」というけたたましい音と共に、赤い車が私の方に向かってるのが見えた。(実は車の色の記憶はないのだが、両親の証言による) 次の瞬間、目の前が「グルグルッ！」と回転し「どさっ」と地面に落下した、というのが私の記憶にあるシーンである。

さらに母親から詳しく聞いてみると、突然走り出した私を注意しようとしたところ、車に跳ねられて、いきなり目の前から私の姿が消えてしまったとのこと。そして、跳ねられた衝撃で私の靴が脱げ、近隣の民家の植木に引っ掛かっていたということであった。いったいどんな跳ねられ方だったのか気になるところだが、今でも残る右太ももと左肘の傷を見ると、あと少し打ち所が悪かったら、また地面への落ち方が悪かったら、最悪の事態になっていたことも充分考えられる。今、こうして楽しく「学校だより」を書き、朗らかに「いろみず」を飾ることができるのも、命あってのことである。運が良かったことに感謝するしかない。

新聞記事や統計資料によると、ここ10年来、交通事故年間発生件数は減少傾向にあると聞く。しかし、未だ年間30万人を超え、かなりの数に上る。私自身、道行く児童生徒の様子を見ている、ヒヤッとする瞬間にたくさん出会い、実に恐ろしい。埼玉県交通安全課から「交通事故防止のための5つの行動」というものが出ているのだが、御存知だろうか。『もしかして(危険予測)』『とまる(一時停止)』『みる(安全確認)』『まつ(安全確保)』『たしかめる(再確認)』である。自転車に乗る際、歩行する際には、これらのことを常に心に留め、交通マナーを遵守して適切な行動をしてほしい。そして、不注意による事故で、大切な人生を棒に振ることのないように、くれぐれも注意を払ってもらいたい。

私は親の目の前で宙に舞っただけでなく、様々な場面で心配ばかりかけてきた。今は自分の仕事を一生懸命やっているので勘弁してもらおうしかない。何はともあれ、両親にはいつまでも元気で長生きしてほしいと願っている。